

養老町立日吉小学校で防災講座を行いました

令和5年10月19日（木）、養老町立日吉小学校で5年生10名に防災講座を行いました。学校の近くには牧田川が流れています。牧田川は、昭和34年8月の集中豪雨で堤防が決壊し、9月の伊勢湾台風で再度決壊しました。児童の皆さんは、伊勢湾台風は全員が知っており、意識の高さが伺えましたが、8月の集中豪雨は知らない児童が多くいました。町内には浸水看板も多く残っており、過去の水害を伝える大切さを感じました。

また、堤防の決壊メカニズムを学ぶ実験や高潮を学ぶ実験、身近なペットボトルを用いた竜巻・雲を発生させる実験などでは、多くの児童が興味を持って楽しみながら学んでいました。

講座後の児童の挨拶では、「堤防は土でできていることがわかった。」、「堤防は上から壊れるだけでなく、下からも壊れることがわかった。」などの感想を頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

